実務セミナー　　**関連部署**にご回覧ください

設計開発における 原価企画・利益企画実践講座

～真の原価の見える化・原価管理と、原価革新の手法～

日時 2019年 3月 12日(火) 10:00～17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
(大阪市中央区北浜東 2−16)

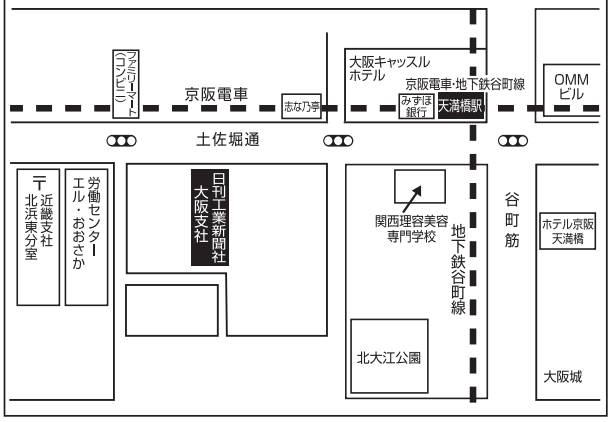
主催 日刊工業新聞社

受講料 43,200円 (資料含む、消費税込)
＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社　大阪支社10階)

大阪市中央区北浜東2−16　TEL：06(6946)3382

＊天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線) 下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋) 北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋) 西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋) 北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場

〒540-0031　大阪市中央区北浜東2−16
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申 込 先　日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222　FAX 03 (5644) 7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書　3/12 原価企画

お申し込みは FAX 03-5644-7215

■受講料：43,200円 (資料含む、消費税込) ＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ / 部署・役職	TEL	
所在地	〒	FAX	
	E-mail：	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。	□

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.182208

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。 【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

開催にあたり

「なぜ、いつも原価見積の精度が悪いのか?」
「なぜ、コンペはいつもコストで負けるのか?」
「なぜ、いつも案件予算を守れないのか?」

引合における原価見積は、企業収益に最も影響を及ぼします。短納期での見積、お付き合い見積、曖昧仕様の見積など、複雑度は増し原価見積と顧客提示価格のマネジメントが機能しているとは言いにくいのが現状です。コンペに負けず、利益を確保するためには、属人的な勘見積から脱却し、合理的／科学的／組織的な見積業務への展開が急務となっています。

「見積原価を高度化するために、原価の見える化はどうあるべきか」「使える見積原価基準（コストテーブル）を作るにはどうすべきか」「原価意識を持ち、最適コストの製品設計をするにはどうすべきか」そのためには、原価を可視化しただけでは意味がありません。設計の可視化も欠かせません。本講義では強い見積を実現させるための、原価改革と設計改革の両側面から解説をいたします。原価と設計が融合した真のあるべき姿を学んでください。

対象者：
- 製造業　・経営者（CTO、CIO、CFO）　・開発部門・設計部門・設計管理部門の管理職から担当
- 経理・原価部門（経営企画部、事業企画部、原価企画部、原価管理部、経理部）の管理職から担当
- 情報システム部門の管理職から担当　・経営改革・業務改革に携わっている管理職から担当

講　師

プリベクト 代表　**北山 一真** 氏

［略歴］ 技術経営コンサルタント
IT系コンサルティング会社、製造業系PLMコンサルティング会社ディレクターを経て、プリベクトを設立。
設計と原価の両側面から抜本的な企業変革を取り組む。設計標準化／高度化、MD、製品開発マネジメント、原価企画／原価見積、管理会計などを得意とする。
東京大学ものづくり経営研究センター管理会計研究会員、日本モジュラーデザイン研究会員、日本管理会計学会員、日本原価計算研究学会員 など

［専門］ 製品開発マネジメント、設計標準化、製品企画、MD、開発購買、製品情報管理（BOM）、PLM、顧客価値会計、意思決定会計、原価企画、DTC（DesignToCost）、ライフサイクルコスティング、売価企画、見積管理、品質コストマネジメント、原価管理

［所属］ 東京大学ものづくり経営研究センター　ものづくり管理会計研究会員／日本管理会計学会員／日本原価計算研究学会員／日本組織会計学会員／J-Cost 研究会員

［著書］『赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた!儲かる製品を実現するコストマネジメント』（日刊工業新聞 2009年）、『ものづくり復活の会計術』（日経BP社 ものづくりTech-on 2010年）、『再考・原価低減 コストのわかる設計者になろう』（日刊工業新聞社 機械設計 2010年-2011年）、『ITアーキテクトのやってはいけない 第4章業務分析、要件定義』（執筆協力 日経BPムック 2011年）、『プロジェクト・マネージャの「やってはいけない」』（執筆協力 日経BP社 ITpro 2012年）、『プロフィタブル・デザインー利益獲得設計ー』（日経テクノロジーオンライン 2015年）など多数

プログラム

Ⅰ. 原価見積・原価管理の問題点
①なぜ原価見積の精度が悪いのか
②なぜ原価が見えないのか
③コストテーブルの問題点

Ⅱ. 原価の可視化
①変動費の可視化
②固定費の可視化
③ロスの可視化

Ⅲ. 真の利益の可視化
①戦略的固定費マネジメント
②プロジェクト会計
③利益企画

Ⅳ. 見積力強化
①設計諸元とコストの相関分析
②Specification-based Costing（SBC）の構築方法
③原価BOMと原価マトリクス

Ⅴ. コストデザイン力強化
①設計諸元とコストファクターの可視化
②原価基準を考慮したデザインルール構築
③設計標準化と原価企画

Ⅵ. コストマネジメント力強化
①目標原価策定・割付プロセス
②コストレビュープロセス
③原価低減アイデア管理プロセス
④プロジェクト管理をベースにした予算管理プロセス
（コスト進捗（出来高・残予算）、EVM）
⑤ライフサイクルコスティング
⑥Time-line cost Management

受講に当たっての必要な予備知識：
- 原価計算·会計の知識を一切必要といたしません。
- 経理·原価管理部門など専門職向け講義ではなく、原価利用部門向けの原価活用講義となっています。